

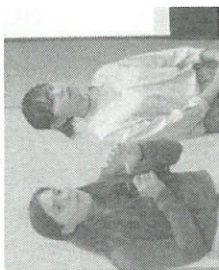
### 留学生による自助支援 広島大で最終発表会

広島大学では、同大の短期交換留学プログラム(HUSA)の留学生による「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト: 大学と地域の協働」留学生の自助支援」実践研究グループプロジェクトの最終発表会をこのほど東広島キャンパスの学生プラザで開催した。



学生の研究発表に  
フィードバックする  
地域関係者

北米・南米・ヨーロッパ・オセアニア・アジアの15カ国30大学からの交換留学生39人の代表5グループが、HUSA担当の恒松直美国際センター准教授による英語と日本語による司会・進行のもと、自助支援プロジェクトの最終成果の発表を行った。留学生らは昨年10月から広島弁の研究グループ、地震対策、東広島の病院マップ作り、広島大学周辺のアルバイト情報、留学生のための調理法紹介など地域から支援を得つつ自助支援プロジェクトを進めてきた。地域公開の発表会には、地域企業や市議会、学内の教員・研究生・大学院生も参加し、最終成果の評価やフィードバックを素晴らしいレシピアックや広島弁のリフレットなど、留学生の努力による完成品に賞賛の声があがった。今後、これらの成果を広島大で学ぶ留学生に生かす施策を検討する。



「留学生のための調理法紹介」の発表を行うHUSA交換留学生

### 医学部地域枠新人学生が副知事を表敬(琉球大)

琉球大学では去る8月14日、沖縄の地域医療に貢献する医師を養成することを目的として、沖縄県と琉球大が取り組む推薦枠制度で今年度入学した学生17名が、石田医学部長や藤田沖縄県地域医療支援センター長と関係者同席のもと、浦崎副知事を表敬訪問した。



挨拶する新村  
さん(八重山  
高校出身)

はじめに、出席した学生からそれぞれ氏名・出身校の自己紹介が行われ、石田医学部長が、今回入学した学生の地域別の内訳について説明。引き続き、藤田沖縄県地域医療支援センター長から、沖縄県に対する謝意が述べられた。

新人学生を代表して新村 駿さんは、「目指していた場所で将来の夢を叶えるために勉強できることを嬉しく感じている。皆さまへの感謝を忘れず一生懸命多くのことを学んでいきたい。地域医療の担い手を目指す私達にとって、高い技術は勿論、患者さん一人ひとりのことを考える姿勢が大事だと思うので、地域医療に携



挨拶する  
浦崎副知事

わっている先生方を目標にしたがってこれから毎日精進していきたい」と沖縄県への感謝と地域医療への熱意を伝えた。浦崎副知事から、「将来の医療を担う皆さんの『やるぞー!』という心意気を感じて、地域枠の学生を送り出した県としても大変喜びに感じている。沖縄の医療を発展させ、守っていくという心構えで努力していただきたい」と激励の言葉が述べられた。



浦崎副知事を囲んで